学校番号	２０１

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「化学　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート　化学　改訂版　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 学期では酸化還元反応や電池，電気分解を学習する。この単元は化学反応式を用いるため，基礎的な係数の調整や化学式・組成式の復習をしたうえで授業に臨むこと。2 学期からは有機化合物について 1 年次に学習した構造式を用いるため，構造式の復習もおこなっておいてほしい。

2　学習の到達目標

・化学基礎で学習し得た知識を適切に用いることが出来る。
・広い視野で各単元での共通項を見つけることが出来る。
・文章を読み取り、起こる化学反応のイメージを考えることが出来る。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:実験・観察の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	疑問や考えを積極的に発言しようとしているか。	実験レポートに結果や自分なりの考察を書くことが出来るか。	座学で学習した内容や 1 年次で行った実験方法等を活用するなどして，実験・実習に取り組むことができたか。	基礎的な用語や計算方法等を理解し，適切なものを選ぶことが出来るか。
評価方法	教員からの発問に対する発言内容	実験プリントを用意し，感想･考察を記入して提出させる。 自らの考えを自らの言葉で表現できているか。	適切な方法・手順で実験に取り組めているか。	年間 5 回行われる定期考査や授業中に行う小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	2章　物質の変化と平衡	● 化学反応と電気エネルギー ※他の2章の内容は3年次実施	○	○	○	○	a:授業中の質疑応答の内容 b:実験レポートの感想・考察 c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 1 学期中間考査・期末考査
2	4章　有機化合物	● 有機化合物の特徴と分類 ● 脂肪族炭化水素 ● 酸素を含む脂肪族化合物 ● 芳香族化合物 ● 有機化合物と人間生活	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a:授業中の質疑応答の内容 b:実験レポートの感想・考察 c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 2 学期中間考査・期末考査
3	5章　高分子化合物	● 高分子化合物 ● 天然高分子化合物 ● 合成高分子化合物 ● 高分子化合物と人間生活	○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:授業中の質疑応答の内容 b:実験レポートの感想・考察 c:行う実験手順の正確さ d:提出物の完成度や定期考査の解答内容	■ 小テスト ■ 実験レポート ■ 3 学期学年末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:実験・観察の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。